

第〇学年〇組 技術・家庭科 学習指導案

令和〇年〇月〇〇日 第〇校時

場 所 ○○室

授業者 ○○ ○○

研究主題

1. 題材名 「 健康・快適で持続可能な衣生活 」
(B 衣食住の生活 ~衣生活~)

- ・どのような学習が展開されるかを一言で端的に記述する。
・本時の学習活動が題材名にならないようにする。

2. 題材について

(1) 題材観

例: 本題材は、学習指導要領の以下の部分に基づいて設定されている。

内容B「衣食住の生活」の以下の指導事項との関連を図って設定している。

(4) 衣服の選択と手入れ

ア 次のような知識および技能を身に付けること。

- 衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用、個性を生かす着用及び衣服の適切な選択について理解すること。
- 衣服の計画的な活用の必要性、衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解し、適切にできること。

イ 衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方を考え、工夫すること。

(5) 生活を豊かにするための布を用いた製作

ア 製作する物に適した材料や縫い方について理解し、用具を安全に取り扱い、製作が適切にできること。

イ 資源や環境に配慮し、生活を豊かにするために布を用いたものの製作計画を考え、製作を工夫すること。

※以下の内容を続けて記述する。※自分の言葉で表現する

◎題材と社会的背景(社会生活・家庭生活)との関連について具体的に記述する。

◎題材を指導する意義と学力観(生きる力)について、題材の性質や内容を分析して、指導者の考えを記述する。

(学習指導要領との関連、既習学習との関連・系統性)

・この題材で、どのような力を身に付けさせるのか、そのためにはどのような学習活動を行うのか、題材全体のねらいや学習活動の概要を説明する。(学習指導要領との関連、既習内容との関連・学校教育目標や研究主題との関連・系統性)

～ので、～と考える。～ので、の題材を設定した。

～ので、～をねらいとしている。～ので、～の力をつけさせたい。等

(2) 生徒の実態 〇年〇組 (男子〇〇名 女子〇〇名)

・クラスの様子を記述する ①題材に対しての生徒の実態を記述する。(アンケート結果も含めて)

※ 題材に関する以下のアンケート内容を入れる。…実態把握をする上で重要なポイント。

・興味関心について(教科、題材)

・題材についての経験 ②題材についての技能 ③題材についての知識

※ 生徒ができる(知っている)こと、できない(知らない)ことの両面について結果が出るような内容を考えること。

結果については、グラフや表にし、わかりやすく記述する。

(3) 指導観

※ 生徒の実態をふまえて記述する。

・この題材でねらいとする力を身に付けさせるために、どのような学習活動をどんな流れで行うのか。

・学習内容や教材の特性を生かしてどのような方法で教えるのか。この指導案で取り扱う内容。

※ 必要に応じて配慮を要する生徒に対する具体的な手立てを記述する。

3. 題材の目標

例:(1)～な知識を理解し、技術を身に付けることができる。 (知識及び技能)

(2)～について考え、工夫することができる。 (思考力、判断力、表現力等)

(3)～に関心をもち、～しようとしている。 (学びに向かう力、人間性等)

※ 一文で書いても、評価の観点に沿って箇条書きで書いててもよい。
 ※(1)知・技 (2)思・判・表 (3)学びに向かう力への順に記述する。
 ※評価の観点に沿って箇条書きか、普通の文章で書く。
 ※「～できる」「～する」「～しようとする」の後に(知識及び技能)等、観点の項目を書く。

4. 題材の範囲

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に子育てに取り組む態度 |
|---|--|--|
| <p>・(例)衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用、個性を生かす着用及び衣服の適切な選択について理解している。</p> <p>○～について理解し、適切に～できる。 ○～について理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けていている。</p> | <p>・(例)衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方、生活を豊かにするための布を用いた物の製作について問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察した事を論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</p> <p>○～について問題を見いだして課題を設定し、～している。 (計画、実践、評価、改善) ○～について～する力を身に付けている。(説明や発表など)</p> | <p>・(例)よりよい生活の実現を向けて、衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方、生活を豊かにするための布を用いた製作について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、創造し、実践しようとしている。</p> <p>○～に主体的に取り組もうとしている。(主体的な取り組み) ○～しようとしている。 (振り返り改善=自己調整)</p> |

※どのような力をさせ、どんな生徒に育ってほしいのか(育てたい資質・能力)を具体的に書く。
(～できる　～している　～しようとしている)

※各学校の目標や内容を視野に入れ、中核となる学習活動を基に考えて書く。

5. 指導計画(14時間扱い)(例)

※題材の指導計画を記述する。

- (1)衣服の一生(衣服の選択から廃棄まで) …1時間
- (2)衣服の選択と着用(課題1) …2時間
- (3)衣服を長く大切に(課題2) …4時間
- (4)衣服等を再利用した生活を豊かにする物の製作(課題3) …6時間
- (5)健康・快適で持続可能な衣生活を送るために …1時間

| 時間 | ねらい・主な学習内容 | 評価基準・評価方法 |
|----------|--|--|
| 1 | <p>○健康・快適で持続可能な衣生活を送ることについて問題を見出し、課題を設定することができる。</p> <p>・小学校での学習や、今までの経験から衣服を選ぶ際に困ったことや、失敗したこと等の問題を見いだし、課題を設定する。</p> | 1 健康・快適で持続可能な衣生活を送るためには、衣服の選択・日常着の手入れ・衣服等の再利用などについて問題を見いだして課題を設定している。(思・判・表) |
| 2 | <p>○衣服と社会生活との関わり、目的に応じた着用、個性を生かす着用、衣服の適切な選択について理解するとともに、衣服の適切な</p> | 学習結果だけではなく、学習過程の評価ができるような評価計画をたてる |
| 34 本時 | | |

6. 本時の指導(4／14)

- (1)小題材名 「衣服を長く大切に」
- (2)本時のねらい 衣服の材料や汚れに応じた選択について理解し、適切にできるとともに、日常着の選択の仕方について考え、工夫することができる。
- (3)学習活動と評価

・時配の中に学習過程(導入,展開,まとめ)の記入欄を設けてよい。

| 時配 | 学習活動と内容 | 教師の指導と支援 | 評価 |
|----|---------|----------|----|
|----|---------|----------|----|

| | | | |
|----------|--|---|--|
| (分) 5 | 1. 本時の学習課題を確認する ※枠で囲む | | |
| 10 | 2. ～に気付く ～考える ～を知る ～を聞く ～について話あう ～を発表する ～を記入する ～をまとめる ～を確かめる など | 《指導・支援》 ～助言する ～ようとする ～確認する ～配慮する ～言葉がけをする ～を示す ～を知らせる など | 例: 材料や汚れ方に応じた日常着の選択について考え、工夫している。 (観察)【思・判・表】 |
| 10 | 3. 各自分が考えたことを、グループで話し合い、気付いたことを全体で発表しあう。 4. 5. 本時を振り返り、気付いたことや分かったことをまとめ、発表する。 | | 評価項目は、5. 指導計画の評価に対応していること 本時の目標に対する評価になっていること 《評価方法》 ・行動の様子 ・発表・発言 ・ワークシートの記述 ・自己評価カードの記述 等 |

(3)板書計画

※補助資料(授業プリント等)があれば添える。

※フローチャートの表記は基本的に行わない。

- ・計画の段階で使用することは有効だが、個別の対応などフローチャートで表しきれない部分がある。

*作業だけではなく、「考える」場(知的活動)を設定し、「対話的」な場面を意図的に入れるようにする。

*作業は、生徒の80%以上が時間内に目標まで終了するような時間配分を行う。

【評価について】

※評価:衣食住や家族の生活などについて見直し、課題を見付けているか

課題を多面的に考察しているか

学習した知識と技術を活用して課題解決をしているか

解決を目指して自分なりに工夫したり、自分の考えを生かしたりした取組をしているか

※評価方法:生徒が考えたり工夫したことを図や言葉でまとめたり、発表したりするなどの活動を通して評価する(計画表、実習記録表、学習カード)

(行動観察、発表、発言)(相互評価)

(ワークシート、プリント、評価カード)

(作品、実践レポート、ポートフォリオ)

(ペーパーテスト、実技テスト)など

※評価計画:学習結果だけではなく、学習過程の評価ができるような評価計画をたてる。(指導と評価の一体化)